

No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	Juni2からのマッピング	
1	タイトル	dc:title		TRUE	M	1-N	コンテンツのタイトル。論文の場合、論題である。コンテンツ本文と同じ言語のタイトル情報は必ず記入する。タイトルの言語情報はxml:langに記入する。	タイトル情報が複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。ただし、各言語コードのdc:titleの出現回数は1回までとする。優先度の高い言語表記の順に記入する。目次タイトル、奥付タイトル等がある場合は、dcterms:alternative (その他のタイトル) に記入する。コンテンツが図書の一部 (章など) である場合、dc:title (タイトル) には章などのタイトルを記入し、図書全体のタイトルはjpcoar:relation (関連) に記入する。ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"とし、片仮名で記入する。また、ヨミを記入する場合は、xml:lang="ja"の情報を必ず記入する。	<dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の研究基盤構想</dc:title> <dc:title xml:lang="ja-Kana">ジョウホワ バクハツ シダイ ノ ケンキュウ キバン コウソフ</dc:title> <dc:title xml:lang="en">Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> <dc:title xml:lang="zh-cn">"如果"句的反事实表达浅析</dc:title>	xml:langの指定がない記入は推奨しない。 <dc:title>情報爆発時代の研究基盤構想</dc:title> 複数言語の並列表記は推奨しない。 <dc:title xml:lang="jaen">情報爆発時代の研究基盤構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> 収録物名を含めることは推奨しない。収録物名はjpcoar:sourceTitle (収録物名) を使用する。 <dc:title xml:lang="ja">NIIの概要(日本病院会雑誌)</dc:title> 同一言語指定の要素を繰り返してはならない。 <dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の研究基盤構想</dc:title> <dc:title xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:title>		タイトル	title
2	その他のタイトル	dcterms:alternative		TRUE	MA	0-N	目次タイトル、奥付タイトル等の本タイトル以外のタイトルを記入する。	その他のタイトルが複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。各言語コードのdcterms:alternativeの出現回数に制限はなく、複数繰り返し記入してよい。本タイトルの別言語のタイトルはdc:title (タイトル) に記入する。ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。また、ヨミを記入する場合は、xml:lang="ja"の情報を必ず記入する。	<dcterms:alternative xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dcterms:alternative> <dcterms:alternative xml:lang="ja-Kana">データ マイニング ジセダイサーチ ナド ノ ケンキュウ</dcterms:alternative>	複数言語の並列表記は推奨しない。 <dcterms:alternative xml:lang="jaen">情報爆発時代の研究基盤構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dcterms:alternative> 収録物名を含めることは推奨しない。収録物名はjpcoar:sourceTitle (収録物名) を使用する。 <dcterms:alternative xml:lang="ja">NIIの概要(日本病院会雑誌)</dcterms:alternative>		その他 (別言語等) のタイトル	alternative
3	作成者	jpcoar:creator		-	MA	0-N	コンテンツの作成に責任を持つ個人または団体等。	学位論文の場合は必ず入力する。複数の著者が存在する場合は、第一著者から順に記入する。	<jpcoar:creator> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja">夏目, 漱石</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja-Kana">ナツメ, ソウセキ</jpcoar:creatorName> <jpcoar:familyName xml:lang="ja">夏目</jpcoar:familyName> <jpcoar:givenName xml:lang="ja">漱石</jpcoar:givenName> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja">夏目, 金之助</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinnosuke</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ, キンノスケ</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://www.isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation> </jpcoar:creator>				
3.1	作成者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	作成者を一意に識別するID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例 : 0000-0001-0003-0004 (ORCID) 、30413925 (e-Rad) 、0000000378057894 (ISNI)) 。nameIdentifierScheme にはID を識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合は、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>	jpcoar:nameIdentifierの値にURLを記入しない。 <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="orcid" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0002-3276-3753">https://orcid.org/0000-0002-3276-3753</jpcoar:nameIdentifier>		ID属性	creator id
		nameIdentifier Scheme		FALSE	M	1						e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi Ringgold GRID	

No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からのマッピング	
			nameIdentifier URI	FALSE	MA	0-1	https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF)) -						

No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	Juni2からのマッピング	
3.2	作成者姓名	jpcoar:creatorName		TRUE	MA	0-N	作成者の姓名を記入する。個人名の姓名の区切りは「姓,△名」(カンマ+半角空白)とする。英語表記のファーストネームが不明な場合は頭文字でもよい。ミドルネームがある場合は、「姓,△ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:creatorNameの出現回数は1回までとする。肩書きや役割、補記は記入しない。監修者や指導者のような間接的な役割の者はjpcoar:contributor (寄与者)を使用する。出版者はdc:publisher (出版者)を使用する。ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。	<jpcoar:creatorName xml:lang="ja">夏目, 漱石</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja-Kana">ナツメ, ソウセキ</jpcoar:creatorName>	langの指定がない記入は推奨しない。 <jpcoar:creatorName>夏目, 漱石</jpcoar:creatorName>		作成者	creator
3.3	作成者姓	jpcoar:familyName		TRUE	O	0-N	作成者の姓を記入する。作成者が個人であり、姓が判別可能な場合は記入する。	各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:familyName xml:lang="ja">夏目</jpcoar:familyName>				
3.4	作成者名	jpcoar:givenName		TRUE	O	0-N	作成者の名を記入する。作成者が個人であり、名が判別可能な場合は記入する。ミドルネームがある場合は、「ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:givenNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:givenName xml:lang="ja">漱石</jpcoar:givenName>				
3.5	作成者別名	jpcoar:creatorAlternative		TRUE	O	0-N	作成者に別名がある場合、その姓名を記入する。記述方法および注意点はjpcoar:creatorName (作成者姓名) に準じる。各言語の出現回数は1回に限らず、複数記入可能とする。	ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。	<jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja">夏目, 金之助</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinnosuke</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ, キンノスケ</jpcoar:creatorAlternative>				
3.6	作成者所属	jpcoar:affiliation		-	R	0-N	作成者の所属する機関名。		<jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation>				
3.6.1	所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	所属機関を一覧に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 000000012192178X (ISNI) 、 12601 (kakenhi)) 。 nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - kakenhi - ISNI - Ringgold - GRID. nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: http://www.isni.org/isni/0000000121691048 (ISNI) https://www.grid.ac/institutes/grid.26999.3d (GRID)) 。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier>		e-Rad		
		nameIdentifier Scheme	FALSE	M	1	NRID							
		nameIdentifier URI	FALSE	R	0-1	ORCID							
3.6.2	所属機関名	jpcoar:affiliationName		TRUE	R	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報はxml:langに記入する。	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、部局名など下位階層の所属は記入しない。当該コンテンツが作成された時点の所属機関を記入する。所属機関名が複数言語ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName>				

No	項目名 (日本語)	要素名		属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からのマッピング	
4.6.2	所属機関名		jpcoar:affiliationName		TRUE	R	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報はxml:langに記入する。	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、部署名など下位階層の所属は記入しない。当該コンテンツが作成された時点の所属機関を記入する。所属機関名が複数言語ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName>				

No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	Juni2からのマッピング	
5	アクセス権	dcterms:accessRights		FALSE	MA	0-1	コンテンツのアクセス状態を記入する。以下の統制語彙から選択して記入する。 - embargoed access: エンバーゴ有 - metadata only access: メタデータのみ - open access: オープンアクセス - restricted access: アクセス制限有。 rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR Access RightsのURIを記入する。	コンテンツのライセンスに関する情報はdc:rights (権利情報) を参照する。「embargoed access」の場合は、datacite:date (日付)のdateTypeに"Available"を指定し、利用開始日を記入する。	<dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_abf2">open access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_f1cf">embargoed access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_14cb">metadata only access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_16ec">restricted access</dcterms:accessRights>		embargoed access metadata only access restricted access open access		
			rdf:resource	FALSE	M	1							
6	APC	rioxterms:apc		FALSE	O	0-1	オリジナルのコンテンツに関連するAPCの状態。以下の語彙から選択する。 - Paid : 支払済み - Fully waived : 全て免除 - Not required : 不要 - Partially waived : 一部免除 - Not charged : 無料 - Unknown : 不明	APCの価格を記入しない。	<rioxterms:apc>Paid</rioxterms:apc>	APCの価格は記入しない。 <rioxterms:apc>\$3,000</rioxterms:apc>	Paid Partially waived Fully waived Not charged Not required Unknown		
7	権利情報	dc:rights		TRUE	R	0-N	コンテンツの利用に関する権利情報を記入する。知的所有権や著作権等に関する情報を含む。ライセンス情報を記入する際にはライセンスの正式名とバージョン情報を記入する (例 : Creative Commons Attribution 4.0 International) 。その他の場合は、自由記述とするが、出版社等の権利者からの指定がある場合は、その指示に従う。ライセンスにURIがある場合、rdf:resourceにHTTP URI形式で記入し、再利用の条件を明示することを推奨する (例 : https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en) 。	ライセンス情報は短縮形で記入しない。各言語コードのdc:rightsの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dc:rights xml:lang="en" rdf:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights> <dc:rights xml:lang="en">Copyright (c) 1997 American Physical Society</dc:rights> <dc:rights xml:lang="en">(c) ACM 2016. This is the author's version of the work. It is posted here for your personal use. Not for redistribution. The definitive Version of Record was published in http://doi.org/10.1145/123456789</dc:rights>	ライセンス情報を短縮形で記入しない。 <dc:rights xml:lang="en" rdf:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">CC BY 4.0</dc:rights> ライセンス情報のURIがある場合、記入を推奨する。 <dc:rights xml:lang="en">Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights> 異なるライセンス情報を1要素にまとめて記入しない。 ファイル単位でライセンス情報が異なる場合は、別途メタデータレコードを作成する。ファイルの分割が困難な場合は、dc:rightsを繰り返して記入する。 <dc:rights xml:lang="en">CC BY 4.0 / Copyright (c) 1997 American Physical Society</dc:rights>		権利	rights
			rdf:resource	FALSE	R	0-1							
8	権利者情報	jpcoar:rightsHolder		-	R	0-N	作成者および寄与者以外の著作権等の権利保持情報を記入する。		<jpcoar:rightsHolder> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/00000004043815">0000000404381592 </jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:rightsHolderName xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsHolderName> </jpcoar:rightsHolder>				
8.1	権利者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	権利者を一意に識別するID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例 : 0000-0001-0003-0004 (ORCID) 、30413925 (e-Rad)、0000000378057894 (ISNI)) 。nameIdentifierScheme にはID を識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID、 nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例 : https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ (NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isni.org/isni/0000000082849737 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF)) 。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/00000004043815">0000000404381592</jpcoar:nameIdentifier>		e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi Ringgold GRID		
			nameIdentifier Scheme	FALSE	M	1							
			nameIdentifier URI	FALSE	R	0-1							
8.2	権利者名	jpcoar:rightsHolderName		TRUE	R	0-N	記述方法はjpcoar:creatorName (作成者姓名) に準じる。		<jpcoar:rightsHolderName xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsHolderName>				

No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	Juni2からのマッピング	
9	主題	jpcoar:subject		TRUE	MA	0-N	コンテンツの内容を表す件名、著者キーワード、分類を記入する。分類はコードのみを記入する。subjectSchemeは以下の語彙を使用する。 - BSH - DDC - LCC - LCSH - MeSH - NDC - NDLC - NDLSH - SciVal - UDC - Other.	分類の項目名は記入しない。著者キーワードの場合 subjectSchemeは"Other"を指定する。各言語コードの jpcoar:subjectの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	著者キーワードの例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="Other">情報化社会</jpcoar:subject> ヨミ記入の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja-Kana" subjectScheme="Other">ジョウワホウカ シャカイ</jpcoar:subject> 分類コードの例 <jpcoar:subject subjectScheme="NDC">007</jpcoar:subject> 件名の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="NDLSH" subjectURI="https://id.ndl.go.jp/auth/ndish/01009109">社会情報学</jpcoar:subject>		著者キーワード 国立情報学研究所 メタデータ主題語彙集 日本十進分類法 国立国会図書館分類表 日本件名標目 国立国会図書館件名標目表 医学件名標目表 デューイ十進分類法 米国議会図書館分類表 国際十進分類法 米国議会図書館件名標目表	subject NIIsubject NDC NDLC BSH NDLSH MeSH DDC LCC UDC LCSH	
			subjectScheme	FALSE	M	1	subjectURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、subjectURIは指定しない（例： https://id.ndl.go.jp/auth/ndish/00575529）。			BSH DDC LCC LCSH MeSH NDC NDLC NDLSH SciVal UDC Other			
			subjectURI	FALSE	MA	0-1							
10	内容記述	datacite:description		TRUE	MA	0-N	コンテンツの内容を示す情報を記述する。データについては、技術的な情報等、他の要素に当てはまらない追加情報を記入する。descriptionTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。論文の抄録の場合は"Abstract"を選択する。 - Abstract - Methods - TableOfContents - TechnicalInfo - Other	datacite:descriptionを使用する場合、必ず descriptionTypeを指定する。各言語コードの datacite:descriptionの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<datacite:description xml:lang="ja" descriptionType="Abstract">国立情報学研究所が提供する「共用リポジトリサービス」JAIRO Cloudは、いまやJAIRO Cloudを抜きに日本の機関リポジトリを語れないところまで普及している。本稿では、このJAIRO Cloudについて、主にそのシステム基盤の意義について論ずる。JAIRO Cloudのシステム基盤の特徴は維持継続が容易で発展性が高いことにある。JAIRO Cloudの特色を地域共同リポジトリなど類似のサービスの比較により明らかにした上で、現在の取り組みを紹介していく。</datacite:description> ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 朗, 加藤 寛士, 高橋 菜奈子, 山地 一祐. システム基盤としてのJAIRO Cloud. 大学図書館研究. 2016, vol.103, p.9-15.	descriptionTypeを省略してはならない。 <datacite:description xml:lang="ja">国立情報学研究所が提供する「共用リポジトリサービス」JAIRO Cloudは、いまやJAIRO Cloudを抜きに日本の機関リポジトリを語れないところまで普及している。本稿では、このJAIRO Cloudについて、主にそのシステム基盤の意義について論ずる。JAIRO Cloudのシステム基盤の特徴は維持継続が容易で発展性が高いことにある。JAIRO Cloudの特色を地域共同リポジトリなど類似のサービスの比較により明らかにした上で、現在の取り組みを紹介していく。</datacite:description> ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 朗, 加藤 寛士, 高橋 菜奈子, 山地 一祐. システム基盤としてのJAIRO Cloud. 大学図書館研究. 2016, vol.103, p.9-15.	内容記述 その他の資源識別子 情報源 資源タイプ	description identifier source type	
			descriptionType	FALSE	M	1				Abstract Methods TableOfContents TechnicalInfo Other			
11	出版者	dc:publisher		TRUE	MA	0-N	コンテンツ本体を公開した主体を記入する。名称が複数言語ある場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。個人名については「姓,△名」とする。肩書きは記入しない。	略称ではなく正式名称を記入する。作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。役割等の補助的な情報は記入しない。各言語コードのdc:publisherの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dc:publisher xml:lang="en">Elsevier</dc:publisher> <dc:publisher xml:lang="ja">日本物理学会</dc:publisher>	出版地は記入しない。 <dc:publisher>東京</dc:publisher> 印刷者や製本者は記入しない。 <dc:publisher>同森印刷</dc:publisher> 機関の変遷前名称等、同一言語での異なる表記を記述してはならない。 <dc:publisher xml:lang="ja">日本建築学会</dc:publisher> <dc:publisher xml:lang="ja">建築学会</dc:publisher>	公開者	publisher	
12	日付	datacite:date		FALSE	MA	0-N	コンテンツに関連する日付を記入する。日付はISO-8601で規定する次の3形式 (YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY) で記入する。dateTypeは以下の統制語彙から選択して必ず記入する。 - Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	Issued（発行日）がある場合は記入必須。その他の日付は関連する情報があれば必ず記入する。coar:accessRights（アクセス権）で "embargoed access"を指定した場合、dateTypeに"Available"を指定し、利用開始日を記入する。	発行日 <datacite:date dateType="Issued">2015-10-01</datacite:date> エンバゴ終了後の利用開始日 <datacite:date dateType="Available">2016-01-01</datacite:date>	dateTypeを省略してはならない。 <datacite:date>2015-10-01</datacite:date> 不明な年を記入してはならない。 <datacite:date dateType="Issued">19--</datacite:date>	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid	日付 刊行年月日	date dateofissued
			dateType	FALSE	M	1							

No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	Juni2からのマッピング		
13	言語	dc:language		FALSE	R	0-N	コンテンツ本文で用いられている主な言語を記入する。ISO-639-3言語コードで記入する。ISO-639-3 のマクロランゲージの使用は任意とする。	言語名を記入しない。国コードを記入しない。優先度の高い言語の順に記入する。	コンテンツ本文が英語 <dc:language>eng</dc:language> コンテンツ本文が英語と日本語 <dc:language>eng</dc:language> <dc:language>jpn</dc:language>	ISO 639-1は推奨しない。 <dc:language>ja</dc:language> 1要素に複数の言語を記入しない。 <dc:language>engjpn</dc:language> 大文字や全角文字を使用しない。 <dc:language>JPN</dc:language> <dc:language> e n g</dc:language> 言語名を記入しない。 <dc:language>日本語</dc:language> 国名を記入しない。 <dc:language>US</dc:language> ISO-639以外の規格の文字コードを記入しない。 <dc:language>en_US</dc:language>		言語	language	
14	資源タイプ	dc:type		FALSE	M	1	コンテンツの種類を資源タイプ語彙別表から選択して記入する。rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR Resource Type (http://vocabularies.coar-repositories.org/documentation/resource_types/) のURIを記入する。	departmental bulletin paper (紀要論文) およびArticle (記事) は、journal article (学術雑誌論文) のURIを記入する。	学術雑誌論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">journal article</dc:type> 紀要論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">departme ntal bulletin paper</dc:type> 博士論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_db06">doctoral thesis</dc:type> データセットの例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_ddb1">dataset</ dc:type> 記事の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">article</d c:type>	rdf:resourceを省略してはならない。 <dc:type>departmental bulletin paper</dc:type>	資源タイプ語彙別表参照	NII資源タイプ	NIItype	
		rdf:resource	FALSE											
15	バージョン情報	datacite:version		FALSE	O	0-1	データの更新に伴うバージョン番号を記入する。"メジャーバージョン番号"."マイナーバージョン番号"の形式で記入する。	データの場合のみ使用する。バージョンの変更がある場合は、記入が望ましい。メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際にはjpcoar:relation (関連情報) に旧バージョンとの関係性を記述する。論文のバージョン情報についてはoaire:version (出版タイプ) を使用する。	<datacite:version>1.2</datacite:version>	バージョンに番号以外の文字列を記入してはならない。 <datacite:version>ver 1.2</datacite:version>				
16	出版タイプ	oaire:version		FALSE	MA	0-1	論文のバージョン情報を記入する。以下の統制語彙から選択して記入する。 - AO: Author's Original - SMUR: Submitted Manuscript Under Review - AM: Accepted Manuscript - P: Proof - VoR: Version of Record - CVoR: Corrected Version of Record - EVoR: Enhanced Version of Record - NA: Not Applicable (or Unknown) rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR VersionのURIを記入する。	論文の場合、必ず記入する。データのバージョン情報についてはdatacite:version (バージョン情報) を使用する。	著者最終稿 (査読後、最終的に出版社に受理された原稿) の場合 <oaire:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_ab4af688fb3e57aa">AM </oaire:version> 出版社版の場合 <oaire:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_970fb48d4fd8a85">Vo R</oaire:version>	AO SMUR AM P VoR CVoR EVoR NA	著者版フラグ	textversion		
		rdf:resource	FALSE	M	1									
17	識別子	jpcoar:identifier		FALSE	MA	0-N	コンテンツを識別するユニークなIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: https://doi.org/10.18926/AMO/54590 (DOI) http://hdl.handle.net/2115/64495 (HDL))	リポジトリコンテンツの自身のIDを記入する。学術雑誌論文の出版社版等のDOIはjpcoar:relation (関連情報) に記入する。JalC DOIを登録する場合は、jpcoar:identifierだけでなく、jpcoar:identifierRegistration (ID登録) に	<jpcoar:identifier identifierType="HDL">http://hdl.handle.net/2115/64495</jpcoar:ide		資源識別子URI JalCDOI	URI selfDOI		

No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からのマッピング	
			identifierType	FALSE	M	1	<p>http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/jb/54559 (URI))。</p> <p>identifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 -</p> <p>DOI - HDL - URI</p>	<p>登録するDOIを "prefix/suffix" 形式で記入する。</p> <p>jpcoar:identifierを記入する際には必ずidentifierTypeを指 定する。</p>	<p>titles></p>		DOI HDL URI		

No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からのマッピング	
18	ID登録	jpcoar:identifierRegistration		FALSE	MA	0-1	JaLC等へIDを登録する場合、記入する。identifierTypeには登録するサービス（DOIの場合はRegistration Agency）を以下の統制語彙から選択して記入する。 - JaLC - Crossref - DataCite - PMID（現在不使用）	リポジトリコンテンツの自身のIDはjpcoar:identifier（識別子）に記入する。"JaLC"または"Crossref"を選択した場合、junii2スキーマのselfDOIに相当する。JaLCでDOIを登録する場合は、jpcoar:identifierRegistrationだけでなく、jpcoar:identifier（識別子） identifierType="DOI"にDOIをHTTP URI形式で記入する。 jpcoar:identifierRegistrationはJaLCとのデータ連携のためのみに使用される。	<jpcoar:identifierRegistration identifierType="JaLC">info:doi/10.18926/AMO/54590</jpcoar:identifierRegistration>	URLスキーム"info:doi/"、"doi:"は使用してはならない。 <jpcoar:identifierRegistration identifierType="JaLC">info:doi/10.1594/WDCC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcoar:identifierRegistration> DOIのURL表記は使用してはならない。 <jpcoar:identifierRegistration identifierType="JaLC">https://doi.org/10.1594/WDCC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcoar:identifierRegistration>		JaLCDOI	selfDOI
			identifierType	FALSE	M	1					JaLC Crossref DataCite PMID（現在不使用）	RA属性	ra
19	関連情報	jpcoar:relation		-	R	0-N	登録するコンテンツと関連するコンテンツ間の関連性を記入する。relationTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。該当する語彙がない場合はrelationTypeを記入しない。 - isVersionOf - hasPartOf - hasPart - isReferencedBy - references - isFormatOf - hasFormat - isReplacedBy - replaces - isRequiredBy - requires - isSupplementTo - isSupplementedBy - isIdenticalTo - isDerivedFrom - isSourceOf	シリーズ名を有するコンテンツで、シリーズタイトルにリンクする場合は、relationType="isPartOf"を使用する。コンテンツが図書の一部（章など）で、図書全体のタイトルにリンクする場合は、relationType="isPartOf"を使用する。著者最終稿から出版者が付与したDOIにリンクする場合は、relationType="isVersionOf"を使用する。	学術雑誌の著者最終稿から出版社版へリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isVersionOf"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="DOI">https://doi.org/10.1371/journal.pone.0170224 </jpcoar:relatedIdentifier> </jpcoar:relation> リンク先のコンテンツに識別子がない場合 <jpcoar:relation relationType="isPartOf"> <jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">バイリンガル育成を目指した中・高・大、日本人院生、外国入院生のチームティーチングによる支援 </jpcoar:relatedTitle> </jpcoar:relation>			異版である 異版あり 置換される 置換する 要件とされる 要件とする 部分である 部分を持つ 参照される 参照する 別フォーマットである 別フォーマットあり	isVersionOf hasVersion isReplacedBy replaces isRequiredBy requires isPartOf hasPart isReferencedBy references isFormatOf hasFormat isReplacedBy replaces isRequiredBy requires isSupplementTo isSupplementedBy isIdenticalTo isDerivedFrom isSourceOf
			relationType	FALSE	R	0-1					isVersionOf hasVersion isPartOf hasPart isReferencedBy references isFormatOf hasFormat isReplacedBy replaces isRequiredBy requires isSupplementTo isSupplementedBy isIdenticalTo isDerivedFrom isSourceOf		
19.1	関連識別子	jpcoar:relatedIdentifier		FALSE	R	0-1	関連するコンテンツの識別子を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例： https://doi.org/10.1594/WDCC/CCSRNIES_SRES_B2 （DOI））。 identifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - ARK - arXiv - DOI - HDL - ICHUSHI - ISBN - J-GLOBAL - Local - PISSN - EISSN - ISSN（非推奨） - NAID - NCID - PMID - PURL - SCOPUS - URI - WOS	識別子が存在しない場合はjpcoar:relatedTitle（関連名称）を記入する。jpcoar:relatedIdentifierを記入する場合は、必須。 identifierType="NCID"には収録物以外のNCIDを記入し、収録物のNCIDはjpcoar:sourceIdentifier（収録物識別子）を使用する。 identifierTypeに"ISSN"を設けるが、原則使用しない。 PISSNまたはEISSNの判別が困難な場合に限りって使用する。	<jpcoar:relatedIdentifier identifierType="DOI">https://doi.org/10.1371/journal.pone.0170224 </jpcoar:relatedIdentifier>			ISBN PubMed番号 DOI NII論文ID 書誌しコードID（総合目録DB） 医中誌ID	isbn pmid doi NAID NCID ichushi
			identifierType	FALSE	M	1					ARK arXiv DOI HDL ICHUSHI ISBN J-GLOBAL Local PISSN EISSN ISSN（非推奨） NAID NCID PMID PURL SCOPUS URI WOS		

No	項目名 (日本語)	要素名		属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からのマッピング	
19.2	関連名称		jpcoar:relatedTitle		TRUE	R	0-N	関連するコンテンツのタイトルを記入する。	対象に識別子が存在する場合はjpcoar:relatedIdentifier（関連識別子）に記入する。該当する識別子が存在しない場合にのみ記入する。各言語コードのjpcoar:relatedTitleの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">バイリンガル育成を目指した中高大、日本人院生、外国人院生のディームデーティングによる支援</jpcoar:relatedTitle>			他の異源との関係	relation

No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	juni2からのマッピング	
20	時間的範囲	dcterms:temporal		TRUE	O	0-N	コンテンツの内容の時間的範囲を記入する。所定のスキーマに従って記入することが望ましい。	各言語コードのdcterms:temporalの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dcterms:temporal xml:lang="ja">奈良時代</dcterms:temporal> <dcterms:temporal xml:lang="en">A.D. 1800 - A.D. 1850</dcterms:temporal>			範囲 時間的 国立情報学研究所メタデー タ主題語彙集(時代)	coverage temporal NIItemporal
21	位置情報	datacite:geo:Location		-	O	0-N	コンテンツを収集した、またはコンテンツの内容の空間的情報を記入する。		ボックス状の空間的範囲を記述する例 <datacite:geo:Location> <datacite:geo:LocationBox> <datacite:westBoundLongitude>- 71.032</datacite:westBoundLongitude> <datacite:eastBoundLongitude>- 68.211</datacite:eastBoundLongitude> <datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude> > <datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude> > </datacite:geo:LocationBox> </datacite:geo:Location> 地名を記述する例 <datacite:geo:Location> <datacite:geo:LocationPlace>Disko Bay</datacite:geo:LocationPlace> </datacite:geo:Location>				
21.1	位置情報 (点)	datacite:geo:LocationPoint		FALSE	O	0-1	コンテンツが指す空間の一点を記入する。						
21.1.1	経度	datacite:pointLongitude		FALSE	M	1	経度の値。10進数で表す。範囲は-180～180で、正の値は東部を表す。	datacite:geo:LocationPointを使用する場合は必須。					
21.1.2	緯度	datacite:pointLatitude		FALSE	M	1	緯度の値。10進数で表す。範囲は-90～90で、正の値は北部を表す。	datacite:geo:LocationPointを使用する場合は必須。					
21.2	位置情報 (空間)	datacite:geo:LocationBox		FALSE	O	0-1	コンテンツが指すボックス状の空間的範囲を記入する。		<datacite:geo:LocationBox> <datacite:westBoundLongitude>- 71.032</datacite:westBoundLongitude> <datacite:eastBoundLongitude>- 68.211</datacite:eastBoundLongitude> <datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude> > <datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude> > </datacite:geo:LocationBox>				
21.2.1	西部経度	datacite:westBoundLongitude		FALSE	M	1	西部経度の値。10進数で表す。範囲は-180～180で、正の値は東部を表す。	datacite:geo:LocationBoxを使用する場合は必須。					
21.2.2	東部経度	datacite:eastBoundLongitude		FALSE	M	1	東部経度の値。10進数で表す。範囲は-180～180で、正の値は東部を表す。	datacite:geo:LocationBoxを使用する場合は必須。					
21.2.3	南部緯度	datacite:southBoundLatitude		FALSE	M	1	南部緯度の値。10進数で表す。範囲は-90～90で、正の値は北部を表す。	datacite:geo:LocationBoxを使用する場合は必須。					
21.2.4	北部緯度	datacite:northBoundLatitude		FALSE	M	1	北部緯度の値。10進数で表す。範囲は-90～90で、正の値は北部を表す。	datacite:geo:LocationBoxを使用する場合は必須。					
21.3	位置情報 (自由記述)	datacite:geo:LocationPlace		FALSE	O	0-N	コンテンツが指す地理上の地点の名称を記入する。		<datacite:geo:LocationPlace>Disko Bay</datacite:geo:LocationPlace>			空間的 国立情報学研究所メタデー タ主題語彙集(地域)	spatial NIISpatial

No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	juni2からのマッピング	
22	助成情報	jpcoar:fundingReference		-	MA	0-N	コンテンツ作成の際に研究助成を受けた場合は、利用した助成金情報を記入する。		<jpcoar:fundingReference> <datacite:funderIdentifier funderIdentifierType ="Crossref Funder">https://doi.org/10.13039/501100000780</datacite:funderId entifier> <jpcoar:funderName xml:lang="en">European Commission</jpcoar:funderName> <datacite:awardNumber awardURI="http://cordis.europa.eu/project/rcn/100603_en.html">28 4382</datacite:awardNumber> <jpcoar:awardTitle xml:lang="en"> Institutionalizing global genetic-resource commons. Global Strategies for accessing and using essential public knowledge assets in the life science </jpcoar:awardTitle> </jpcoar:fundingReference>				
22.1	助成機関識別子	<div>datacite:funderIdentifier</div> <div>funderIdentifier Type</div>		FALSE	MA	0-1	助成主体の永続的な識別子をHTTP URI形式で記入する。 funderIdentifierTypeは以下の統制語彙から選択して記入する。 ・ Crossref Funder ・ GRID ・ ISNI ・ Other	Crossref Funder IDの使用を推奨する。Crossref Funder IDがない場合に限り、その他の識別子を記入する。	<datacite:funderIdentifier funderIdentifierType ="Crossref Funder">https://doi.org/10.13039/501100000780</datacite:funderId entifier>		ISNI GRID Crossref Funder Other		
22.2	助成機関名	jpcoar:funderName		TRUE	M	1-N	助成機関等、助成を行った主体の名称を記入する。	jpcoar:fundingReferenceを記入する場合は、必須。略称ではなく、正式名称を記入する。各言語コードのjpcoar:funderNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:funderName xml:lang="en">European Commission</jpcoar:funderName>				
22.3	研究課題番号	<div>datacite:awardNumber</div> <div>awardURI</div>		FALSE	MA	0-1	研究課題番号を文字列で記入する。記述方法は助成団体による (例：15H02781 (科研費))。awardURIは、助成団体が提供 している当該の助成に関する詳細情報をHTTP URI形式で記入す る。科研費の場合は、KAKENデータベースの該当するページの URLを記入する。		<datacite:awardNumber awardURI="http://cordis.europa.eu/project/rcn/100603_en.html">28 4382</datacite:awardNumber>				
22.4	研究課題名	jpcoar:awardTitle		TRUE	MA	0-N	研究課題名を文字列で記入する。	各言語コードのjpcoar:awardTitleの出現回数は1回までと する。	<jpcoar:awardTitle xml:lang="en"> Institutionalizing global genetic-resource commons. Global Strategies for accessing and using essential public knowledge assets in the life science </jpcoar:awardTitle>				
23	収録物識別子	<div>jpcoar:sourceIdentifier</div> <div>identifierType</div>		FALSE	MA	0-N	収録物に付与された識別子を記入する。記述方法は選択した識別子 に依存する。IdentifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入 する。 ・ PISSN ・ EISSN ・ ISSN (非推奨) ・ NCID	ISSN、NCIDがある場合は必ず記入する。収録物以外の NCIDはjpcoar:relatedIdentifier (関連識別子) を使用す る。juni2下位互換用の語彙としてIdentifierTypeに "ISSN"を設けるが、原則使用しない。PISSNまたはEISSN の判別が困難な場合に限って使用する。	<jpcoar:sourceIdentifier identifierType="PISSN">1234- 5678</jpcoar:sourceIdentifier> <jpcoar:sourceIdentifier identifierType="NCID">AN12345678</jpcoar:sourceIdentifier>		ISSN 雑誌レコードID(総合目録 DB) PISSN EISSN ISSN (非推奨) NCID	issn NCID	
24	収録物名	jpcoar:sourceTitle		TRUE	MA	0-N	コンテンツの収録物のタイトルを記入する。	日本語雑誌名で和文、欧文コンテンツが混在する場合は、 本文の言語に応じて雑誌名を表記することが望ましい。タ イトルが複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入す る。ただし、各言語コードのtitleの出現回数は1回までとす る。言語表記ごとの繰り返しにする場合は、優先度の高い 言語表記の順に記入する。	<jpcoar:sourceTitle xml:lang="ja">看護総合科学研究会誌 </jpcoar:sourceTitle> <jpcoar:sourceTitle xml:lang="en">Journal of Comprehensive Nursing Research</jpcoar:sourceTitle>	収録物名の略称は推奨しない。 <jpcoar:sourceTitle xml:lang="en">Annu Rev Biochem</jpcoar:sourceTitle>		雑誌名	title
25	巻	jpcoar:volume		FALSE	MA	0-1	収録物の巻レベルを記入する。単位を表す語句 (「巻」、 「vol」、 「号」、 「年」 など) は記入しない。巻号と通号の両者 が存在する場合は、巻号を採用する。	号または通号のみをもつ場合は、巻レベルとし、 jpcoar:volumeに記入する。アラビア数字以外の数字表記 によるものは、アラビア数字に変換する。アラビア数字に 変換できない場合は、そのまま転記する。	<jpcoar:volume>1</jpcoar:volume>		巻	volume	
26	号	jpcoar:issue		FALSE	MA	0-1	収録物の号レベルを記入する。単位を表す語句 (「号」、 「issue」 など) は削除する。	号または通号のみをもつ場合は、巻レベルとし、 jpcoar:volumeに記入する。アラビア数字以外の数字表記 によるものは、アラビア数字に変換する。アラビア数字に 変換できない場合は、そのまま転記する。号レベルより下 位のレベルが存在する場合でも (例えばvolume3、 issue2、part1 等の場合)、その下位レベルについては記 入しない。	<jpcoar:issue>1</jpcoar:issue>		号	issue	
27	ページ数	jpcoar:numPages		FALSE	MA	0-1	コンテンツの総ページ数を記入する。		<jpcoar:numPages>12</jpcoar:numPages>				

No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	juni2からのマッピング	
28	開始ページ	jpcoar:pageStart		FALSE	MA	0-1	コンテンツの収録物中における開始ページを記入する。開始ページと終了ページが同じ場合は、jpcoar:pageEndにも同様の値を記入する。巻（volume）の通ページと、号（issue）ごとのページの両方が存在する場合は、巻（volume）の通ページを記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:pageStart>1</jpcoar:pageStart>			開始ページ	spage

No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からのマッピング	
29	終了ページ	jpcoar:pageEnd		FALSE	MA	0-1	コンテンツの収録物中における終了ページを記入する。開始ページと終了ページが同じ場合は、jpcoar:pageStartと同様の値を記入する。巻（volume）の通ページと、号（issue）ごとのページの両方が存在する場合は、巻（volume）の通ページを記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:pageEnd>12</jpcoar:pageEnd>			終了ページ	epage
30	学位授与番号	dcndi:dissertationNumber		FALSE	MA	0-1	学位授与番号を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。学博士論文の場合は、学位記番号ではなく報告番号を記入する。	<dcndi:dissertationNumber>甲第5384号</dcndi:dissertationNumber>	科研費機関番号（数字5桁） +[甲>A 乙>B 他>Z] + 報告番号の形式（junii2 ver 3.0）は推奨しない。 <dcndi:dissertationNumber>15301A5384</dcndi:dissertationNumber> 科研費機関番号（数字5 桁） +[甲 乙]+第+報告番号+号の形式（junii2 ver 3.1）は推奨しない。 <dcndi:dissertationNumber>15301甲第5384号</dcndi:dissertationNumber>		学位授与番号	grantid
31	学位名	dcndi:degreeName		TRUE	MA	0-N	学位規則で定められている学位の種別と学位の分野を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。国際流通を鑑み、英語名称を合わせて記入することを推奨する。各言語コードのdcndi:degreeNameの出現回数は1回までとする。	<dcndi:degreeName xml:lang="en">Doctor of Philosophy in Letters</dcndi:degreeName> <dcndi:degreeName xml:lang="ja">博士（文学）</dcndi:degreeName>			学位名	degreeName
32	学位授与年月日	dcndi:dateGranted		FALSE	MA	0-1	学位授与年月日を記入する。日付はISO-8601 で規定する次の 3 形式（YYYY-MM-DD、YYYY-MM、YYYY）で記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。	<dcndi:dateGranted>2016-03-25</dcndi:dateGranted>			学位授与年月日	dateofgranted
33	学位授与機関	jpcoar:degreeGrantor		-	MA	0-N	学位授与機関の情報を記入する。	共同大学院の場合は、学生の籍がある大学を最初に記入し、繰り返しして記入する。	<jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32653</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学</jpcoar:degreeGrantorName> <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32689</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">早稲田大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor>	共同大学院をひとつのjpcoar:degreeGrantorに記入することは推奨しない。 <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">3265332689</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学早稲田大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor>			
33.1	学位授与機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	学位授与機関を一意に識別する科研費機関番号を記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeには"kakenhi"を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は、学位授与機関の科研費機関番号の記入が必須。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">15301</jpcoar:nameIdentifier>				
		nameIdentifierScheme		FALSE	M	1					e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID		

No	項目名 (日本語)	要素名		属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からのマッピング	
33.2	学位授与機関名		jpcoar:degreeGrantorName		TRUE	MA	0-N	学位授与機関の名称を記入する。学位授与機関名の言語情報はxml:langに記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。略称ではなく、正式名称を記入する。各言語コードのjpcoar:degreeGrantorNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">岡山大学</jpcoar:degreeGrantorName> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="en">Okayama University</jpcoar:degreeGrantorName>			学位授与機関	grantor

No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	Juni2からのマッピング		
34	会議記述	jpcoar:conference		-	R	0-N	会議情報を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。略称ではなく、正式名称を記入する。各言語コードのjpcoar:degreeGrantorNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conference> <jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName> <jpcoar:conferenceSequence>7</jpcoar:conferenceSequence> <jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor> <jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate> <jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue> <jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace> <jpcoar:conferenceCountry>JPN</jpcoar:conferenceCountry> </jpcoar:conference>					
34.1	会議名	jpcoar:conferenceName		TRUE	R	0-N	会議名を記入する。	各言語コードのjpcoar:conferenceNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName>					
34.2	回次	jpcoar:conferenceSequence		FALSE	R	0-1	会議の回次を記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:conferenceSequence>7</jpcoar:conferenceSequence>					
34.3	主催機関	jpcoar:conferenceSponsor		TRUE	R	0-N	会議を主催する機関名を記入する。	会議の開催会場はjpcoar:conferenceVenueに記入する。各言語コードのjpcoar:conferenceSponsorの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor>					
34.4	開催期間	jpcoar:conferenceDate		TRUE	R	0-1	会議の開催期間について、開始年月日および終了年月日を年（YYYY）、月（MM）、日（DD）の形式で各属性に、表示用の開催期間を値に記入する。 機械可読可能な日付（属性）と表示用の開催期間（値）の両方を記入することが望ましいが、いずれかの情報しかない場合は一方のみを記入する。	会議の開催が1日のみの場合は、属性のstartDayとendDayに同一の日を記入する。	<jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate> 値または属性のいずれかのみの場合 <jpcoar:conferenceDate startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016" /> <jpcoar:conferenceDate xml:lang="en">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate>		startDay startMonth startYear endDay endMonth endYear			
		startDay	FALSE	MA	0-1									
		startMonth	FALSE	MA	0-1									
		startYear	FALSE	MA	0-1									
		endDay	FALSE	MA	0-1									
		endMonth	FALSE	MA	0-1									
		endYear	FALSE	MA	0-1									
34.5	開催会場	jpcoar:conferenceVenue		TRUE	R	0-N	会議が開催された会場を記入する。	会議の主催機関はjpcoar:conferenceSponsorに記入する。 各言語コードのjpcoar:conferenceVenueの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue>					
34.6	開催地	jpcoar:conferencePlace		TRUE	R	0-N	会議の開催地を記入する。	会議の開催国はjpcoar:conferenceCountryに記入する。各言語コードのjpcoar:conferencePlaceの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace>					
34.7	開催国	jpcoar:conferenceCountry		FALSE	R	0-1	会議の開催国を記入する。ISO 3166-1 alpha-3形式で記入する。	ISO 3166-1 alpha-3形式以外で記入しない。	<jpcoar:conferenceCountry>JPN</jpcoar:conferenceCountry>					

No	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	Juni2からのマッピング	
35	ファイル情報	jpcoar:file		-	MA	0-N	コンテンツ本体に関する情報。		<jpcoar:file> <jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf" >http://ousar.lib.okayama- u.ac.jp/jpcoar/files/public/5/54590/20161108092537681027/70_5_33 1.pdf </jpcoar:URI> <jpcoar:mimeType>application/pdf</jpcoar:mimeType> <jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent> <jpcoar:extent>15 pages</jpcoar:extent> <datecite:date dateType="Issued">2015-10-01</datecite:date> </jpcoar:file> <jpcoar:file> <jpcoar:URI objectType="other" label="supplemental data" >http://xxx.xxx.xxx.xxx/researchdata.zip</jpcoar:URI> <jpcoar:mimeType>application/zip</jpcoar:mimeType> <jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent> <datecite:date dateType="Created">2016-01-01</datecite:date> <datecite:version>1.2</datecite:version> </jpcoar:file>				
35.1	本文URL	jpcoar:URI		FALSE	MA	0-1	コンテンツ本体ファイルのURIを記入する。 objectTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - abstract - dataset - summary - fulltext - software - thumbnail - other labelはファイル名がある場合、記入する。	objectTypeはURIがある場合は必須。博士論文の場合、要 約はsummary、要旨はabstractを使用する。 論文に付随する補足データ等はdatasetを使用する。	<jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf">http://ousar.lib.okayama- u.ac.jp/jpcoar/files/public/5/54590/20161108092537681027/70_5_33 1.pdf </jpcoar:URI> <jpcoar:URI objectType="dataset" label="supplemental data">http://xxx.xxx.xxx.xxx/researchdata.zip</jpcoar:URI>		abstract dataset fulltext software summary thumbnail other	本文フルテキストへのリン ク	fullTextURL
		objectType	FALSE	MA	0-1								
		label	FALSE	O	0-1								
35.2	フォーマット	jpcoar:mimeType		FALSE	R	0-1	コンテンツのファイル形式を記入する。IANA に登録されている MIME メディアタイプから選択することを推奨する。	コンテンツの種類はdc:type（資源タイプ）を使用する。 コンテンツの分量はjpcoar:extent（サイズ）を使用する。	<jpcoar:mimeType>application/pdf</jpcoar:mimeType> <jpcoar:mimeType>application/zip</jpcoar:mimeType>	MIMEメディアタイプ以外の形式で記入してはならない。 <jpcoar:mimeType>pdf</jpcoar:mimeType>		フォーマット	format
35.3	サイズ	jpcoar:extent		FALSE	O	0-N	ファイルサイズ、分量等の情報を記入する。自由記述。但し数値は アラビア数字を半角で記入する。	論文の開始ページはjpcoar:pageStart（開始ページ）、終 了ページはjpcoar:pageEnd（終了ページ）を利用する。	<jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent>				
35.4	日付	datecite:date		FALSE	MA	0-N	個別ファイルに関連する日付を記入する。日付はISO-8601 で規定 する次の3形式（YYYY-MM-DD、YYYY-MM、YYYY）で記入す る。dateTypeには以下の統制語彙から選択して必ず記入する。 - Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	dcterms:accessRights（アクセス権）で "embargoed access"を指定し、コンテンツ本体の単位でエンバゴ期 間が異なる場合、dateTypeに"Available"を指定し、利用 開始日を記入する。	発行日 <datecite:date dateType="Issued">2015-10-01</datecite:date> エンバゴ終了後の利用開始日 <datecite:date dateType="Available">2016-01-01</datecite:date>	dateTypeを省略してはならない。 <datecite:date>2015-10-01</datecite:date> 不明な年を記入してはならない。 <datecite:date dateType="Issued">19-- </datecite:date>	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid		
		dateType	FALSE	M	1								
35.5	バージョン情報	datecite:version		FALSE	O	0-1	データのバージョン情報。コンテンツの更新に伴うバージョン番号 を記入する。"メジャーバージョン番号"."マイナーバージョン番号" の形式で記入する。	データの場合のみ使用する。バージョンの変更がある場合 は、記入が望ましい。メジャーバージョン変更の際には新 しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作 成する。その際にはjpcoar:relation（関連情報）に旧バー ジョンとの関係性を記述する。コンテンツ全体のバージョ ン情報についてはdatecite:version（バージョン情報）ま たはoaire:version（出版タイプ）を使用する。	<datecite:version>1.2</datecite:version>				